

お引越しなら、40年の歴史がある

タカラ引越センター

にお任せ下さい！

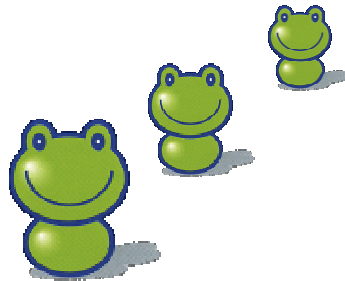
安心と信頼の引っ越し百科

タカラ引越センター

国土交通省東京陸運局登録東陸自登1488号

 0120-000-753

引越の手引き



1. 引越の準備
2. 引越当日の状況
3. 引越後のあれこれ
4. 各種手続き
5. 引越便利グッズ
6. 引越関連のサービス
7. 引越のQ&A

平成 25 年 11 月 26 日 初版





はじめに

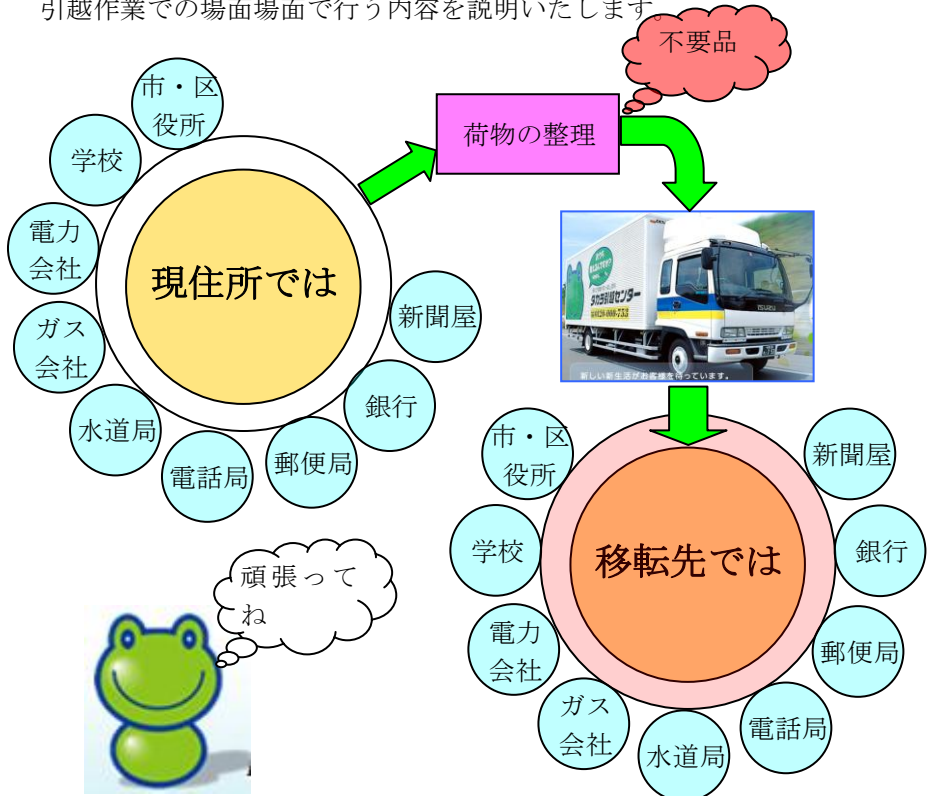
引越の始まりはとても心躍る事から始まります、新築、改築、入学、結婚、栄転、移転等が引越する事の引き金となります。

引越は非常に体力と気力を必要とします。

引越作業では荷物の整理、梱包、開梱、セッティング等有りお客様が今お持ちの荷物全てが引越の対象となります。

手続きでは市・区役所、学校、電力会社、ガス会社、水道局、電話局、郵便局、銀行、新聞等の手続を詳細に記述いたしました。

また引越業者の選定も頭の痛いものです、この「引越の手引き」では引越作業での場面場面でを行う内容を説明いたします。





目 次

1. 引越の準備

1－1. 引越スケジュール	1
1－2. 引越荷物の整理	4
1－3. 引越で使う資材	5
1－4. 引越し荷物 一覧表	6
1－5. 部屋別の引越準備	7
1－6. 荷物の種類別整理	12
1－7. 不用品の処分方法	21
1－8. 移転先のレイアウト	22
1－9. 引越料金の仕組み	23

2. 引越当日の状況

2－1. お客様と引越業者との役割分担	24
2－2. 引越荷物の積込み	25
2－3. 荷物の運搬	25
2－4. 引越荷物の荷下し	25
2－5. 引越荷物の設置	25
2－6. 引越終了後の確認と承認	25

3. 引越後のあれこれ

3－1. 梱包資材の処分	26
3－2. 引越後の案内	26
3－3. 引越先のインフラ確認	26

4. 各種手続き

4－1. 市・区役所の手続き	27
4－2. 学校の手続き	28
4－3. 電力会社の手続き	29
4－4. ガス会社の手続き	29
4－5. 水道局の手続き	30
4－6. NTT東日本の手続き	31
4－7. 郵便局の手続き	31
4－8. 銀行の手続き	31
4－9. 新聞屋の手続き	32



1. 引越の準備

1-1. 引越スケジュール

引越する時、いつ何をすべきか分からない事が数多くあります、作業が決まった時、こまめにスケジュールに書きましょう、最初のスケジュールはラフな気持ちで作成しましょう、作業を進める過程でスケジュールを見直しをして下さい。

引越スケジュールの記入例を示します、記入例では引越前と引越後に分けてます。

引越前



引越業者：タカラ引越センター
連絡先：043(445)3456

平成 年 月 日

引越スケジュール（引越前）

記入例

月	11月											12月					備考														
日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
荷持の梱包										荷物の整理																					
梱包資材																															
各種手続き																															

引越前日数 29 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

作業内容:

- 荷物の整理 (11月12日)
- 荷物の梱包 (11月19日)
- 荷物の梱包 (11月20日)
- 荷物の梱包 (11月21日)
- 荷物の梱包 (11月22日)
- 荷物の梱包 (11月23日)
- 荷物の梱包 (11月24日)
- 荷物の梱包 (11月25日)
- 荷物の梱包 (11月26日)
- 荷物の梱包 (11月27日)
- 荷物の梱包 (11月28日)
- 荷物の梱包 (11月29日)
- 荷物の梱包 (11月30日)
- 荷物の梱包 (12月1日)
- 荷物の梱包 (12月2日)
- 荷物の梱包 (12月3日)
- 荷物の梱包 (12月4日)
- 荷物の梱包 (12月5日)

梱包資材の手配:

- ダンボール (11月19日)
- ガムテープ (11月19日)
- ローラー (11月19日)
- 追加梱包資材の手配 (11月20日)
- ダンボール (11月21日)
- ふんばり (11月21日)
- ハンガーボックス (11月21日)

各種手続き:

- 引越業者と契約 (11月19日)
- 学校に転出届を提出 (11月19日)
- 郵便局に連絡 (11月20日)
- NHKに連絡 (11月20日)
- 新聞屋に連絡 (11月20日)
- 電話局に連絡 (11月21日)
- 電力会社に連絡 (11月21日)
- ガス会社に連絡 (11月21日)
- 水道局に連絡 (11月21日)
- 銀行に連絡 (11月21日)
- 学校で転学届提出 (11月22日)
- その他の発行 (11月22日)
- 市役所で異動票の発行 (11月22日)

備考

平成 年 月 日

引越業者：タカラ引越センター
連絡先：043(445)3456

引越後

月	11月											12月					備考														
日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
荷持の整理																															
梱包資材																															
各種手続き																															

作業内容:

- 荷物のセッティング (11月12日)
- ダンボールの回収 (11月19日)
- 郵便局に連絡 (11月20日)
- 電力会社に連絡 (11月20日)
- ガス会社に連絡 (11月20日)
- NHKに連絡 (11月20日)
- 水道局に連絡 (11月20日)
- 銀行に連絡 (11月20日)
- 新聞屋に連絡 (11月20日)
- 電話局に連絡 (11月21日)
- 電力会社に連絡 (11月21日)
- ガス会社に連絡 (11月21日)
- 水道局に連絡 (11月21日)
- 銀行に連絡 (11月21日)
- 新聞屋に連絡 (11月21日)
- 学校で転学届提出 (11月22日)
- その他の発行 (11月22日)
- 市役所で異動票の発行 (11月22日)

備考

平成 年 月 日



タカラ引越センター
にお任せ下さい！

引越スケジュール (引越前)

田 民 年 歲 平

引越業者：タカラ引越センター

連絡先: 043 (445) 3456

[illegible]

本用紙は引越日を上記「引越」の月・日に記入して下さい、残りの日も引越日を中心に前方向と後方向に日付を記入して下さい。



12

(弓)越後)

田
町
年
盛
平

引越業者：引越セ、引一

連絡先: 043 (445) 3456

[illegible]

毎母用表に「月・日」を記入して下さい。残りの日も「月・日」を記入して下さい。

1－2．引越荷物の整理

引越荷物は出来るだけ少ない方が良く、でも「あれもこれも」思い出の物ばかり、簡単に捨てられないのが現状です、以下に整理する方法を記述します。

整理する気持ちを高める為に、何らかの「整理理由」を作りましょう

- ①「手狭になった住まい」の時は、広くするには、整理は欠かせない
- ②「結婚での新居」の時は、綺麗な住まいにするには、整理は欠かせない
- ③「勉学を励む住まい」の時は、勉強できる部屋には、整理は欠かせない
- ④「転勤による住まい」の時は、家族を呼ぶのに、整理は欠かせない

等と決めます、新たな住まいで快適に生活出来る為には、引越荷物は新居に合った量にすべきです、「生活空間」「欲しかった家具の置き場所」「新たな家族が増える」等を考え引越後の荷物は新居の60～70％に押さえないものです、40～30％の空き空間はお客さまの夢を育む場所と成ります。

荷物を整理するには大物荷物と小物荷物に分けましょう、小物荷物は子供の物と家族の物に分けましょう、分けたそれぞれの荷物は「残す物」「捨てる物」に分け「残す物」は引越ダンボールに入れ引越荷物とします、一方「捨てる荷物」は場所を作りまとめます。大物荷物は次ページに示す「引越し荷物一覧表」に記入します、一覧表には小物荷物のダンボールも記入しましょう。

引越し荷物一覧表が完成したら移転先の床面積に希望する占有率を掛け使える面積を計算します、使える面積が決まったら、引越し荷物一覧表を見て引越荷物の調整目標としましょう。

荷物の「要」は移転先に、「不」はリサイクルショップ、不用品での処分または人にあげる等して整理しましょう。

荷物の梱包は「1．2引越荷物の梱包」で説明します。

不用品の取扱については弊社までお問い合わせ下さい。

電話番号 0120-000-753

1-3. 引越で使う資材

■ダンボール類	Mダンボール	衣類・雑貨などの梱包
	Sダンボール	食器や本、CDなどの小物の梱包
	和ダンボール	和服の梱包
	お店ダンボール	お店で貰えるダンボール

ダンボールの必要数	1 K	10枚程
	1 DK	20～30枚程
	2 DK	40～60枚程
	2 LDK	50～80枚程
	3 DK	80～120枚程
	3 LDK	100～150枚程

上記の枚数は目安です、具体的には電話にて確認下さい。

電話番号 **0120-000-753**

中古ダンボール 一度使ったダンボールを、無料で貸出ししています
(中古ダンボールリユース)

■ハンガーボックス	スーツやワンピースなどの梱包 (引越業者の貸出)
■ふとん袋	シングルサイズまでの布団を梱包 (引越業者の貸出、 布団2組が入ります)

■粘着テープ類	クラフトテープ	クラフト紙で作られた粘着テープ (紙粘着テープ)
	布テープ	布の片面に粘着液を塗り作成
	養生テープ	建物を保護する時に使用

■ひも類	ビニールひも	梱包荷物をひも賭けする時に使用
	麻ひも	重い荷物を梱包する時に使用

■引越荷物の保護	エアークッション	小物類を包みます
	ロールペーパー	食器類を包みます
	新聞紙	割れ安い荷物を包みます、また荷 の隙間を埋める時に使用



1-4. 引越し荷物 一覧表



引越し荷物 一覧表

No	現住所	荷 物 名	大 き さ	誰 の 荷 物	最 終 使 用 日	利 用 頻 度	要 / 不	移 転 先	備 考
1					-				
2					-				
3					-				
4					-				
5					-				
6					-				
7					-				
8					-				
9					-				
10					-				
11					-				
12					-				
13					-				
14					-				
15					-				
16					-				
17					-				
18					-				
19					-				
20					-				
21					-				
22					-				
23					-				
24					-				

現住所：引越前の荷物場所 移転先：引越先の荷物場所 要／不：要の時は移転先は必須、不の時は移転先は空白にします

1－5．部屋別の引越準備

キッチン（台所）の引越準備

- ・肉類、魚貝類は引越前日までに食べきって下さい。
- ・野菜類は新聞紙等に包みダンボールに入れて下さい。
- ・お米は袋に入れた後、ダンボールに入れて下さい。
- ・インスタント食品、練り物、乾物類は種類別に纏めビニール袋に入れダンボールに入れて下さい。
- ・缶詰類はそのままダンボールに入れて下さい。
- ・嗜好品（お酒、ビール、焼酎、ジュース等）は使用中の物は口をシッカリと閉めビニール袋に入れ口を輪ゴム等で閉め割れない様に新聞紙等で包みダンボールに入れて下さい、ビンとビンの隙間はエアークッション等で埋めて下さい、ダンボールの表には「割れ物注意」の貼紙をして下さい。
- ・調味料は口をシッカリ閉めビニール袋に入れ口を輪ゴム等で閉めた後にダンボールに入れて下さい。
- ・使用中の油類は処分(中身は新聞紙、布類に吸い込ませゴミに)して下さい。
- ・お茶碗、お皿類は一つ一つ新聞紙またはロールペーパーで包みダンボールに入れ、隙間をエアークッション等で埋めて下さい、ダンボールの表に「割れ物注意」の貼紙をして下さい。
- ・セトモノ（土鍋、土瓶蒸し、すり鉢等）は割れない様に包みダンボールに入れて下さい、ダンボールの表に「ワレ物注意」の貼紙をして下さい。
- ・お箸、スプーン、フォーク、ナイフ、お玉、箸置き等はそれぞれ纏めて一つの袋に入れダンボールに入れて下さい。
- ・お鍋、ヤカン、ボール、ザル等はそのままダンボールに入れて下さい。
- ・ガスボンベは単独でダンボールに入れ「ガス類注意」を書いて下さい。
- ・刃物類は新聞紙に包み解けない様にセロテープで止めてからダンボールに入れ「刃物注意」の貼紙をして下さい。
- ・まな板、水切り籠はそのままダンボールに入れて下さい。
- ・冷蔵庫、電子レンジ、電気オーブン、ガスオーブン等大物荷物は中の食物取り出して下さい、本体は引越業者が毛布等で包み引越します。
- ・小物道具（ジューサー、ミキサー、クッキングカッター、はかり、クッキングタイマー、布巾掛け、コンロ等）はダンボールに入れて下さい。
- ・漬け物、瓶での漬け物は口をしっかりと止め紐掛けをして下さい、タッパーでの漬け物は袋に入れゴムバンドで口が開かない様にしダンボールに積めて下さい。

リビング（居間）の引越準備

- ・リビングボード、ローボード等に入っている割れ物、壊れ物は一つ一つ新聞紙またはロールペーパーで包みダンボールに入れ、隙間はエアークッション等で保護して下さい、箱の表に「割れ物注意」の貼紙をして下さい。
- ・加湿器等、水が入っている機器は水を抜いて下さい。
- ・電気製品の付属品（リモコン、ケーブル類）は機器単位に袋詰めして下さい、袋には機器名称を書いて下さい。
- ・ジュースタン、カーペットは丸めるか折り畳んで包み紐で止めて下さい。
- ・カーテン、ノレン類はたたんでダンボールに入れて下さい。
- ・各種荷物の整理は「１－５．荷物の種類別整理」を参照して下さい。

子供部屋の引越準備

- ・机類は引き出しの中身を全て出して下さい、机は引越業者がキルティングまたは毛布に包み引越します。



- ・椅子は梱包してトラックに積まれ引越します。
- ・本箱は棚及び引き出しから本、小物を全て取り出しダンボールに詰めます、本箱はキルティングまたは毛布に包み引越します。



- ・ベッドは布団・枕は布団袋に入れて下さい、ベッドはキルティングまたは毛布に包まれ引越します。



- ・寝具は布団袋に入れて下さい。
- ・衣類は畳んでダンボールにつめましょう。

- ・本、ノートは分類しダンボールに詰めましょう。
- ・アルバムは分類しダンボールに詰めましょう。
- ・筆記用具は同じ物通しを纏め小袋に入れた後、小さなダンボールに纏めましょう。
- ・玩具は同じ物通しを纏め小袋に入れた後、小さなダンボールに纏めましょう。

寝室の引越準備

- ・ベットはドライバー一本で解体出来る物は引越業者が解体し引越しします、ドライバー一本で解体出来ないベットは家具店に引越を依頼して下さい。
- ・ベッドサイドテーブルは中に入っている物は取り出しダンボールに積めて下さい、本体はそのまま引越しします。
- ・クローゼット、チェスト等の衣類が入っている物は衣類等は取り出しダンボールに積めて下さい、移動出来るチェスト等はそのまま引越しします。
- ・ベットマットレスはマットレスカバーで梱包し引越しします。
- ・布団は布団袋に入れて下さい。
- ・その他小物類はダンボールに入れて下さい。
- ・植木が入った鉢は土が散らばらない様ビニール袋に入れ紐で止めて下さい。

玄関の引越準備

- ・下駄箱は中に入っている靴、清掃道具等を取り出しダンボールに積めて下さい、移動出来る下駄箱はそのまま引越しします。
- ・傘立ては中の傘を取り出しそのまま引越しします。
- ・自転車はそのまま引越しします。
- ・清掃用具はダンボールに入る物はダンボールに入れて下さい、大きい物はそのまま引越しします。
- ・小物類はダンボールに入れて下さい。

洗面所の引越準備

- ・洗濯機はドラム式の時はドラムストッパーのネジが有ればドラムを固定し引越が可能です。
- ・洗面の小物は液漏れしない様に袋にいれダンボールに入れて下さい。
- ・タオル類もダンボールに入れて下さい。
- ・洗濯用洗剤、柔軟剤等は液漏れしない様に袋にいれダンボールに入れて下さい。

浴室の引越準備

- ・タオル類はダンボールに入れて下さい。
- ・洗顔、整髪用の液は液漏れしない様に袋に入れダンボールに入れて下さい。
- ・フロ桶、フロ用椅子等はダンボールに入れて下さい。
- ・湯船の蓋はヒモで止めて下さい。

物置の引越準備

- ・農耕具は危なくないように包んで下さい。
- ・鉢はそのまま引越します。
- ・庭の清掃用具はダンボールに入れて下さい。
- ・使わなくなった器具は処分して下さい。
- ・農薬等は袋にいれダンボールに入れて下さい、箱の表に「危険物」の貼紙を付けて下さい。

庭の引越準備

- ・鉢植えの植物はそのまま引越します。
- ・地植えの植物は植木職人に引越依頼して下さい。
- ・庭の手入れ用器具はダンボールに入れて下さい。
- ・庭石は植木職人に引越依頼して下さい。
- ・物干し台はそのまま引越します。

小動物の引越準備

小動物の住まい・飼育小物は下記の通りです、小動物はお客様の手で引越して下さい。

犬のケース

- ・犬小屋は引越出来る様に掃除しましょう、掃除後はそのまま引越します。
- ・犬ゲージは引越出来る様に清掃しましょう、清掃後はそのまま引越します。
- ・犬の餌、リード、食器、遊び道具、衣類等の小物は一つに纏めダンボールに詰めて下さい。

猫のケース

- ・猫のゲージは引越出来る様に清掃しましょう、清掃後はそのまま引越します。
- ・猫の餌、食器、遊び道具、衣類等の小物は一つに纏めダンボールに詰めて下さい。

小鳥のケース

- ・小鳥は鳥籠に入れお客様の手で引越して下さい。
- ・小鳥の飼育用小物の一つに纏めダンボールに詰めて下さい。

その他小動物のケース

- ・飼育箱は清掃しましょう、飼育箱はダンボール詰め引越します。
- ・飼育用小物の一つに纏めダンボールに詰めて下さい。

■ダンボールの止め方

ダンボール下部の止め方



ダンボール上部には行先と 荷物名を記入しましょう



1－6．荷物の種類別整理

家具

タンス類・・・衣類は取り出してハンガーボックスまたはダンボール詰めます、タンスは引越業者が毛布等で梱包し引越します。



衣装ケース・・・衣類が飛び出さない様にして下さい。



ハンガーラック・・・衣類は取り外してダンボール詰めにして下さい。



ソファ・・・引越業者が毛布等で梱包し引越します。



チェア・・・引越業者が毛布等で梱包し引越します。



テーブル・・・・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



ダイニングセット・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



取り外し可能な吊り棚・・・・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



ナイトテーブル・・・・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



化粧用家具・・・・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



テレビボード・・・・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



リビング家具・・・引越業者が毛布等で梱包し引越しします。



ベッド・・・・・・・・引越業者がマットレスを外し引越しします。



マットレス・・・・・・・・引越業者がマットレスカバーで梱包し引越しします。

ジュウタン類・・・丸めるか、折り畳むかし紐で止め引越しします。



ラック類・・・・・・・・引越業者がそのままの形で引越しします。



玄関家具・・・・・・・・引越業者が家具用パット等で梱包し引越しします。



座布団、布団袋・・座布団は汚れない様に袋に入れます、布団袋はそのまま引越しします。



人形ケース・・・・・・・・ガラスケースに入っている人形は首、手、足、を引越しの時、動かない様に人形とガラスケースとの間に新聞紙当を詰めましょう、また付属品も新聞紙で包みガラスケースの中に入れましょう



電気器具

テレビ・・・・・・・・電源ケーブル、アンテナケーブル、他の機器と接続するケーブルはそれぞれ束ね結束バンドで結びます、リモコン、DVD等の付属品及びメディアは袋にまとめましょう。本体はエアークッションで包みキズが付かないようにしましょう。



ビデオ・・・・・・・・電源ケーブル、アンテナケーブル、他の機器と接続するケーブルはそれぞれ束ね結束バンドで結びます、リモコン、DVD等の付属品及びメディアは袋にまとめましょう。本体はエアークッションで包みキズが付かないようにしましょう。



オーディオ・・・・・・・・電源ケーブル、他の機器と接続するケーブルはそれぞれ束ね結束バンドで結びます、リモコン、CD等の付属品及びメディアは袋にまとめましょう。本体はエアークッションで包みキズが付かないようにしましょう。



パソコン類・・・・・・・・電源ケーブル、接続ケーブルを外し結束バンドで結びます。マウス、キーボード、タッチペンは纏めて袋にいれましょう。
ルーターは通信会社からの借用品の時は通信会社に返却手続きを行って下さい。
ONU、ホームゲートウェイは通信会社の物なので返却手続きを行って下さい。



パソコンラック・そのままの引越します。



冷蔵庫・・・・業者が冷蔵庫カバー等で梱包し運搬します。



引越前日の夕方までに冷蔵庫の中を空にします、夕方にコンセントから電源ケーブルを抜きます。
引越業者が運べる大きさはまでです、冷蔵庫は2人作業となります。

小物家電製品・・・電源コードを結束バンドで止め、エアパッキンで包みましょう。



電子レンジ・・・電源コードを結束バンド等で結びましょう。
エアークッキングに包みます。



レンジ台・・・中の物をダンボールに詰め空にします。



洗濯機・・・引越業者が梱包して引越します。



エアコン・・・電気工事業者が取外し、取付をします。



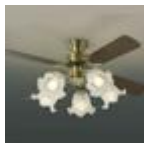
シャンデリア・・・電気工事業者が取外し、取付をします。



- シーリング照明・・取り外します、全体をエアークッションで包み解けないよう様テープまたはクラフトテープで止めて下さい、リモコンは袋に入れ本体の横に貼り付けましょう。



- シーリングファン・取り外します、本体から照明カバーを外します。



蛍光管または電球証明の時は蛍光管、電球を外し新聞紙に包みます、リモコンも同時に入れましょう、本体をエアークッションで包みが解けないように粘着テープまたはクラフトテープで止めて下さい。

LED照明の時は本体をエアークッションで包み解けないように粘着テープまたはクラフトテープで止めて下さい。

照明カバーはエアークッションで包み包みが解けないように粘着テープまたはクラフトテープで止めて下さい。

- ペンダント照明・・取り外します、全体をエアークッションで包み解けないように粘着テープまたはクラフトテープで止めて下さい。



- フロアスタンド・・ケーブルは結束バンド等で束ねます、全体をエアークッションで包み包みが解けない様に粘着テープまたはクラフトテープで止めて下さい。



- 小物照明・・・・新聞紙に包みダンボールに入れて下さい。



健康器具・・・・・・・・引越業者が梱包して引越します。



自転車、ベビーカー・そのまま引越します。



植木鉢・・・・・・・・そのまま引越します。

植木・盆栽・・・・・・・・庭師に依頼して下さい。

物置・・・・・・・・専門業者に依頼いたします。

ピアノ類・・・・・・・・ピアノ専門業者に依頼いたします。



オートバイ・・・・・・・・バイク屋（タカラから手配可能）さんに依頼して下さい。

自動車・・・・・・・・専門業者に依頼いたします。

1－7．不用品の処分方法

不用品の処分は処分品の種類で処分方法が異なります、処分方法には

- | | |
|----------------|---------------|
| ①リサイクルショップへの売却 | ④リサイクル法に基づく処分 |
| ②家庭ゴミでの処分 | ⑤有害物質での処分 |
| ③粗大ゴミでの処分 | ⑥店頭で回収する物 |

の6種類の方法が有ります。

①リサイクルショップ（お友達の売却も含む）への売却

処分品は価値が有るものに限り、処分品をリサイクルショップに持ち込み売却して下さい。

②家庭ゴミでの処理

家庭ゴミの対象となります、製品の形では回収しない市（区）も多々有ると聞いてます、ゴミの形にして出して下さい。

処分はお住まいの市（区）の広報をご確認下さい。

③粗大ゴミでの処理

大型ゴミ、大型電気器具（エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、ワイン庫、洗濯機、衣類乾燥機は④で処理となります）、家具等が対象となります。

処分はお住まいの市（区）の広報をご確認下さい。

④リサイクル法に基づく処理

エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、ワイン庫、洗濯機、衣類乾燥機、自動車があります、リサイクル料金および処分方法は販売店にご相談下さい。

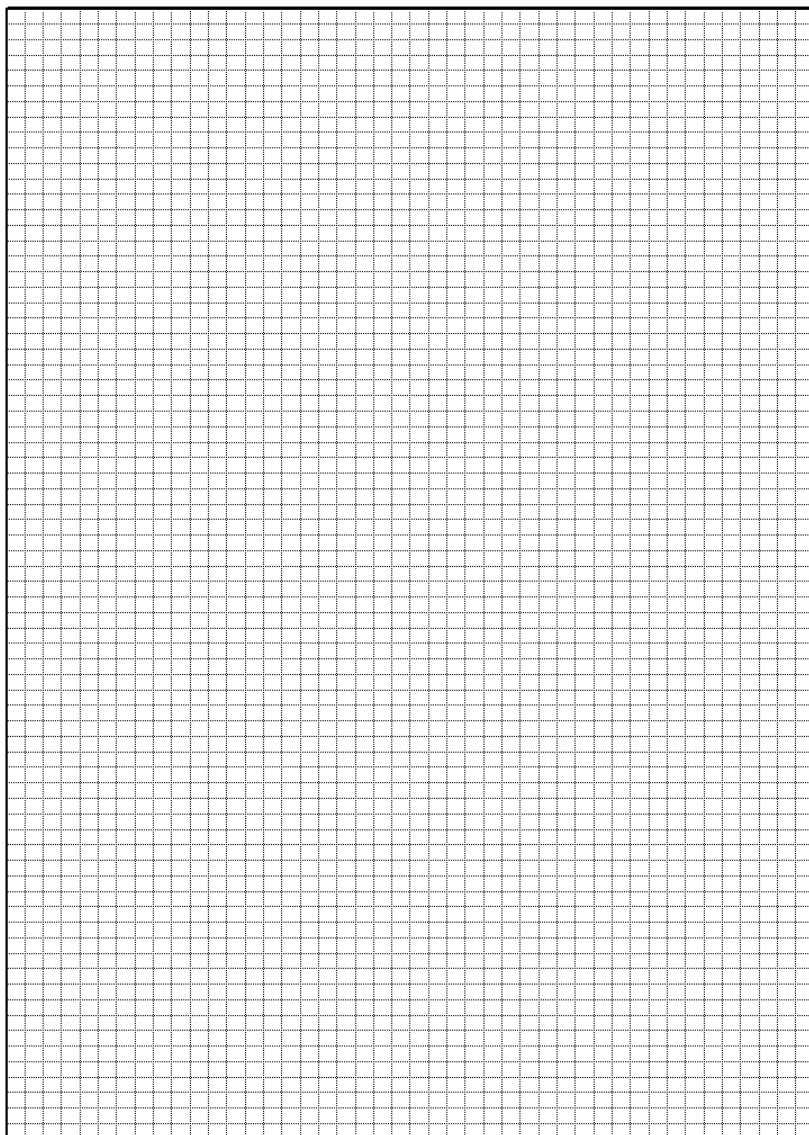
⑤有害物質での処分

レアメタルを含む機器（携帯電話、電子機器の基盤等）および有害物質を含む物質（充電器、ボタン電池、ニッカド電池、ニッケル水素電池）については回収箱に入れて下さい。

⑥店頭で回収する物にはインクカートリッジ、携帯電話、充電器、電池（携帯電話・PHSの充電式電池）、電池（小形充電式）、電池（ボタン型）、ニッカド電池、ニッケル水素電池、PHS電話があります。

1－8．移転先のレイアウト作成

引越先の間取りを書き間取りの中に入れる荷物名を記入します、引越当日に引越業者に見せトラブルの無い引越にしましょう。



此を作っておく事で引越後の作業が楽になります。

新築の場合などは建築業者が作成した間取り図を見ながら作成すると容易良く作成出来ます。

1－9．引越料金の仕組み

基本料金は「引越荷物の量」、「現住所と移転先までの距離」および「荷物の種類」で基本料金が決まります。

①引越荷物の量

引越荷物の量で引越トラックが決まります、多い引越荷物の時は大きいトラックが少ない引越荷物の時は小さなトラックが配車されます。
小さいトラックより大きいトラックの方が料金が高くなります、安い料金で引越するには引越荷物の減量化が欠かせません。

②現住所と移転先までの距離

現住所から移転先までの距離を引越距離と言います、引越距離が長くなればガソリン代と作業料金が高くなります。

③荷物の種類

荷物には「大きい物」「重い物」「沢山な荷物」があります、運転手一人で引越出来るか作業員を一人増やし二人で引越出来るかで料金が違ってきます。

また土休日、月末、年度末は引越料金が高く設定されています、安く引越する時は先の日を避けて引越する事をお勧めいたします。

オプション料金には「エアコンの取外し・取付」「アンテナの取外し・取付」「車の陸送」「ピアノの運搬」および「引越前のハウスクリーニング」等があります、詳細は下記の電話番号で料金ご案内致します。

電話番号 **0120-000-753**

特殊料金には引越トラックが家の近くまで入れない場合、高層マンションの場合、マンションの共有部分の養生が必要な時は特殊料金となります、詳細は下記の電話番号で料金ご案内致します。

電話番号 **0120-000-753**



２．引越当日の状況

２－１．お客様と引越業者との役割分担

お客様と引越業者の役割は下記の通りです。

	作 業 内 容	お客様の作業	弊社の作業
お 客 様	貴重品（現金・有価証券・宝玉石・金銀・預金通帳・印鑑等）の管理をお願いいたします	○	
	神棚・お仏壇の神具・仏具の荷造りをお願いいたします	○	
	生活ゴミ（生ゴミ・ビン類・缶類等）のご処分をお願いいたします	○	
	ファンヒーター・ストーブの灯油・電池をお抜き下さい（火災・汚損事故防止のため）	○	
梱 包 ・ 開 梱	大型家電・大型家具の梱包作業		○
	冷蔵庫内の食品は空にして前日に電源をお切り下さい	○	
	食器等小物の梱包作業（ダンボールの荷造り）＊オプション又は有料	○	○
	食器等小物の開梱作業（ダンボールの荷解き）＊オプション又は有料	○	○
	高額家財（美術品・絵画・家具等）のご申告と取り扱い（梱包・開梱）	○	○
作 業 な ど	高価品（有り・無し）申告点	○	○
	組み立て家具の解体・組み立て	○	○
	物置の解体・組み立て	○	○
	高額家財（美術品・絵画・家具等）の搬送作業	○	○
	特殊作業（吊り上げ作業・吊り下げ作業・建物養生（築地・着地）	無し 不要	有り 必要
オ ブ シ ョ ン	ピアノ・金庫の移動	○	○
	エアコンの移設（取外し・取り付け）	○	○
	◎配管の交換・延長等で部材が必要な場合、追加料金が必要となります		
	洗濯機の設置（ドラム式洗濯機：固定用ボルト 無・有）	○	○
	パソコンのデータ/バックアップ処理をお願いいたします	○	○
	パソコンの配線（取り外し・取り付け）	○	○
	生活機器等の配線（照明・テレビ・ ）	○	○
そ の 他	新聞購読 配達開始年月日 年 月 日から カ月（朝刊・セット）	○	○
	引取品（家財リストに記載分）	○	○
	使用後の梱包資材の処分	○	○
	ご家財の一時お預かり（有・無）	○	○
	ご新居のマンション管理会社へ搬入作業の届出（提出書の要・不要の確認）	○	○

くれぐれも貴重品の管理はお客様にお願い申し上げます。

2－2．引越荷物の積込み

引越荷物の積込みは全て引越業者が行う事が原則です。

2－3．荷物の運搬

引越荷物の運搬は全て引越業者が行う事が原則です、お客様の同乗は法律で禁止されていますのでご遠慮願います。

2－4．引越荷物の荷下し

引越荷物の荷下しは全て引越業者が行う事が原則です。

2－5．引越荷物の設置

引越業者は引越荷物を指定場所まで運びます。

2－6．引越終了後の確認と承認

引越業者に依頼した引越荷物が全て運ばれたか確認し引越作業完了書にサインして下さい。



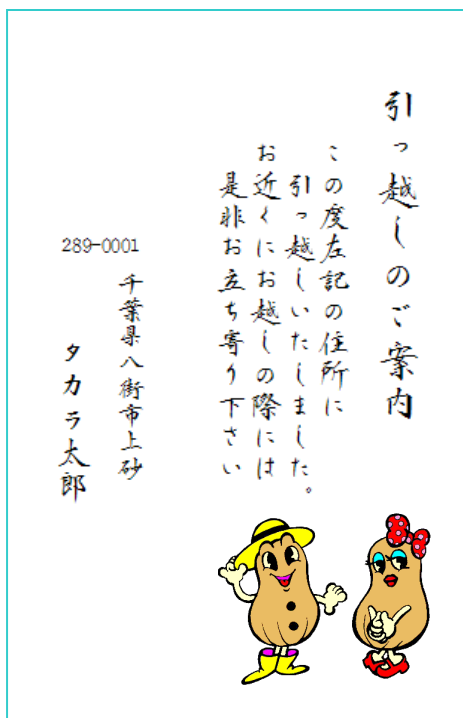
3. 引越後のあれこれ

3-1. 梱包資材の処分

ダンボールにつきましては引越業者が引き取ってくれる事も有ります、ご利用の引越業者に連絡しお話下さい。

3-2. 引越後の案内

親しい方々に引越先の住所を
ハガキで案内しましょう。



3-3. 引越先のインフラ確認

学校、市役所、図書館、スーパー、警察、消防署、タクシー会社など
知っていなければならない所の住所、連絡先等を一覧表に作っておくと
便利です。



4. 各種手続き

4-1. 市・区役所での手続き

転入届（他の市町村から引っ越してきたとき）

転入日から 14 日以内 本人か世帯主

- 転出証明書（前住所の市区町村で発行）
- 国民健康保険証（すでに加入している世帯に転入したとき）
- 国民年金手帳（加入者のみ）
- 届出人の印鑑（本人または世帯主の場合は不要）

転居届（区内で住所を変えたとき）

転居日から 14 日以内

- 国民健康保険証および国民年金手帳（加入者のみ）
- 届出人の印鑑（本人または世帯主の場合は不要）

転出届（他の市区町村に引っ越すとき）

転出する日まで

- 国民健康保険証および国民年金手帳（加入者のみ）
- 届出人の印鑑（本人または世帯主の場合は不要）

世帯主変更届／世帯分離届／世帯合併届

変更日から 14 日以内

- 国民健康保険証（加入者のみ。世帯主合併のときは両方の保険証）
- 国民年金手帳（加入者のみ）
- 届出人の印鑑（本人または世帯主の場合は不要）

移転先の市・区役所 住所： _____
電話： _____

4-2. 学校での手続き



○市外から転入

引越後直ちに手続き実施

- (1) 市役所市民課で転入手続きを行い、転校先学校への「転入学通知書」を受け取ります。(転校前学校発行の「在学証明書」と「教科書給与証明書」を提示してください。)
- (2) 転校先学校で、(1)で提示した証明書2枚と受け取った通知書を提出し、転入学の手続きをします。

○市内で転居するとき

引越後直ちに手続き実施

- (1) 市役所市民課で転居手続きを行い、転校前学校への「転学通知書」と転校先学校への「転入学通知書」を受け取ります。
- (2) 転校前学校で、(1)で受け取った「転学通知書」を提出し、転校先学校への「在学証明書」と「教科書給与証明書」を受け取ります。
- (3) 転校先学校で、(1)で受け取った「転入学通知書」と(2)で受け取った証明書2枚を提出し、転入学の手続きをします。

○市外へ転出するとき

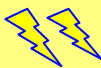
引越日より14日前

- (1) 市役所市民課で転出手続きを行い、転校前学校への「転学通知書」を受け取ります。
- (2) 転校前学校で、(1)で受け取った「転学通知書」を提出し、転校先学校への「在学証明書」と「教科書給与証明書」を受け取ります。
- (4) 転出先の市町村で、転入手続きをするとともに、(2)で受け取った証明書2枚を提示し、転入学の手続きをします。

※各支所市民福祉課でも、同様の手続きが可能です。

※学区以外の学校へ就学を希望する、必要な証明書を持っていない(転入のみ)、海外へ転出する・海外から転入してきた、児童生徒の国籍が外国籍など、特別な事情がある場合は教育委員会での手続きが必要です。

4－3．東京電力の手続き



お引越しの予定日が決まりましたら、事前に東京電力へ次の事項をご連絡をお願いします。

サービス員が伺い、最終分のご使用量をメータより確認いたします。

- ご住所
- ご契約者のお名前
- お客さま番号(「電気ご使用量のお知らせ(検針票)」や「領収証」に表示してあります)
- お引越日時
- お引越先
- お支払い方法

上記必要事項はお電話やインターネット窓口、FAXでご連絡いただけます。

4－4．東京ガスの手続き



現住所および移転先で東京ガスご利用される方は東京ガスにご連絡下さい。

○ガスのご使用を中止するとき

お客さま番号、現住所、電話番号、ご使用中止希望日とご訪問希望時間帯をご連絡下さい。

お客さま番号はお届けしているガスご使用量のお知らせ(検針票)に記載されております。

お客さま番号がわからないとき(ガス料金等のお支払方法が口座振替・クレジットカード払い)の方は、(1)ご契約者名、(2)ご住所、(3)お支払いにお使いの口座・カード番号でお客さま番号を検索することができます。口座・カード番号をご準備のうえ、ご連絡下さい。

ご利用を中止する作業の立ち会い者のお名前(オートロック式の建物の場合や、閉栓と同時に料金の精算をご希望の場合は、お立ち会いをお願いいたします。)

○移転先で東京ガスを使用するとき

移転先住所、電話番号、移転先の建物の形態(一戸建て・マンション・

アパートなど)、使用開始希望日とご訪問希望時間帯をご連絡下さい。
ガス栓を開ける時に作業の立ち会い者のお名前（ご使用者または代理人の方に必ずお立ち会いをお願いしております。）
ガス料金のご精算方法・口座振替継続のご希望について すでにお持ちで、ご使用予定のガス機器もお知らせ下さい。

4－5．水道局の手続き

○水道の使用をやめるとき [中止届]

引っ越していくとき、家の改築や長期間留守にする等で一時水道を止めたいとき、お届けがないと、ご使用されていなくても基本料金がかかりますのでご注意ください。

再度水道を使用するときは、開始のお申込みをしてください

○新たに水道を使用するとき [開始申込み]

引っ越してきたとき、家を新築・改築したとき開始申込書に必要事項を記入し、郵送していただいても結構です。

口座継続について、転居の場合、引っ越し後も、転居前の振替口座を引き続きご利用いただけます。使用開始のお届けの際、転居前のお客さま番号とともにお申し出ください。

引っ越していくとき、家の改築や長期間留守にする等で一時水道を止めたいときお届けがないと、ご使用されていなくても基本料金がかかりますのでご注意ください。

○再度水道を使用するとき

開始のお申込みをしてください

○その他の変更があったとき

ご契約者の名義を変えたいとき [名義変更届]、請求書の送り先を変えたいとき [請求先等変更届]、なお、開始申込み、中止届及び請求先の変更につきましては、インターネットでのお申込みもできます。

水道メータを共用している住宅等で、世帯数が変わるとき、料金・漏水修繕等に関するご相談及びお問い合わせ

4－6．NTT東日本の手続き



引越が決まりましたら、116に電話して下さい。
手続きに必要な内容は下記の通りです。

- 移転先の住所（移転先でNTT東日本の電話をお使いの場合）
- 使用中の電話番号
- 契約者のお名前
- お客様ID（請求書に記載されています）
- 工事の予定日（移転先でNTT東日本の電話をお使いの場合）

4－7．郵便局の手続き



○郵便物

お近くの郵便局で「転居届」を書きます、1年間旧住所宛の郵便物を新住所に無料で転送してもらえます。

○預金

お近くのゆうちょ銀行で住所変更しましょう

- 住所移転届書
 - 通帳、証書、保管証（現住所以外のもの）
 - お届け印
 - 本人確認書類（新住所の記載のある公的書類）
- を持参します。

4－8．銀行の手続き

お近くの支店窓口で住所変更を行って下さい。近くに支店が無い時はメールで住所変更できる銀行もあります。

- 通帳
 - 届出印
- を持参します。

4－9．新聞での手続き

引越前の手続き

今契約している販売店に引越する旨を連絡して下さい。

なお連絡先が分からない時は

朝日新聞 0120-33-0843

読売新聞 0120-4343-81

毎日新聞 0120-468-012

日本経済新聞 0120-24-2146

千葉日報 043-227-0077

引越後の手続き

移転先での配達依頼は下記の電話にご連絡下さい、お近くの販売店のご紹介があります。

朝日新聞 0120-33-0843

読売新聞 0120-4343-81

毎日新聞 0120-468-012

日本経済新聞 0120-24-2146

千葉日報 043-227-0077